

会合

令和6年度 ASEAN 向け省エネ支援事業 CN 診断中間ミーティングを実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて令和7年2月5日本年度の AJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)スキーム5活動の一環として CN 診断中間ミーティングを開催し、CN 診断結果を ASEAN 内で共有しました。

- (1) 産業部門の紙ナプキン製造工場（インドネシア）、清涼飲料水製造工場（ラオス）の CN 診断結果報告
- (2) ビル部門のテクノハブビル（フィリピン）の CN 診断結果報告
- (3) CN プロジェクトスタートアップミーティングの概要説明と今後の展望の説明



開講挨拶（ECCJ）



ASEAN 参加者

今年度の AJEEP スキーム5 プログラムの一環として、昨年、産業部門ではインドネシアの各種紙ナプキン等の製造工場および清涼飲料水製造工場（ラオス）、ビル部門でフィリピンのテクノハブビルを対象に、ASEAN 内の実機工場／ビルでの CN 診断を実施しました。今回のミーティングは CN 診断結果を ASEAN 内で共有することを目的に開催され、CN 診断実施者を中心に ASEAN から 21 名、JETRO ジャカルタから 1 名、ACE から 5 名、ECCJ から 8 名の合計 35 名が参加しました。インドネシア、ラオス、フィリピンから CN 診断結果の報告を実施し、ECCJ から資料のアドバイスや講評を実施し、合わせて CN 診断の課題について議論しました。

- (1) ユニ・チャームインドネシアから CN 診断結果報告があり、太陽光発電による CN 対策と 10 件の省エネ対策が提案され、現状の CO2 削減目標は 2016 年比 35%削減を設定しました。
- (2) ラオコカ・コーラから CN 診断結果報告があり、水熱源ヒートポンプによる CN 対策と 12 件の省エネ対策が提案され、中長期計画案が策定されました。
- (3) フィリピンのテクノハブビルで実施した ZEB 診断結果について CN 診断結果報告があり、ZEB 改修モデルにより、36%のエネルギー削減効果を確認できました。
- (4) 来年8月に実施する予定の CN プロジェクトスタートアップミーティングで最終的な中長期計画の策定を行い、上司の承認を得て、CN プロジェクトが開始されることを説明しました。
- (5) 今年度の CN 診断は 2 工場・1 ビルで実施しましたが、多数の推薦会社がノミネートされ、今年度の成果を元に広く CN 診断を実施することで、ASEAN での CN 診断が可能な人材を育成し、CN プロジェクト形成による日本企業への裨益に繋がっていきます。

*AJEEP : ASEAN—JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム